

2016年3月26日（土） 第9回映画会 バリアフリー上映「博士の愛した数式」

今回で9回目となる図書館映画会。今年は「博士の愛した数式」のバリアフリー上映を行いました。

映画のバリアフリー上映というと、聞き慣れない方も多くいらっしゃるかもしれません。これは、目の不自由な方や耳の不自由な方など映画鑑賞が困難な方々も健常者と共に楽しめるように工夫が施された上映のことです。

通常の映画の場合、目の不自由な方は画面を見ることができません。そこに視覚的情報を補う音声ガイド（ナレーション）が加わることで、少しでも場面が想像しやすくなります。さらに、セリフや場面解説の字幕が画面下部に表示されることで、耳の不自由な方やご高齢で耳の遠い方も作品を鑑賞しやすくなります。

「音声ガイドあり」「場面解説字幕あり」の映画を、健常者が鑑賞するとどう感じるのでしょうか。物語の進み具合に沿って適切な場面解説が入るため、場面によっては通常の映画鑑賞よりも深く登場人物の心情を理解することができます。さながら映画を観ながら小説を読んでいるような感覚です。参加した方からは「バリアフリー映画を初めて体験しました。いい経験でした。」などの感想をいただきました。



2006年に公開された映画「博士の愛した数式」は、小川洋子さんの同名小説が原作です。図書館では、通常の単行本や文庫本だけでなく大活字本や録音図書でも所蔵しています。図書館のハンディキャップサービスの一環として、読みづらさを感じている方や視覚障がいをお持ちの方々にも健常者と同様に資料提供を行っているのです。

図書館映画会は、来年度もバリアフリー上映で実施する予定です。障がいのある方もない方も、一緒に映画を鑑賞することのできる機会です。みなさまのご参加をお待ちしております。